

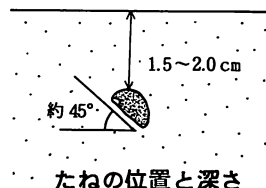
大輪アサガオの育て方

たねまき

時期 5月上旬～中旬

用土 パーミキュライト、川砂、赤玉土の単用または混合

方法 種子は皮にキズをつけ、深さ1.5cmに播きます



たねの位置と深さ

鉢上げ

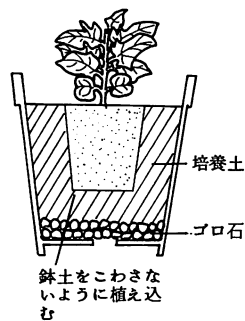
時期 子葉の展開直後

用土 腐葉土(4.5) + 田土(3.0) + 川砂(2.0) + くん炭(0.5)

鉢 3.5～4号鉢をします。

肥料 乾燥肥料を小さじ2杯、鉢の縁へ埋め込むか液肥を与えます。

灌水 午前中に行い、夕方には土の表面が乾くぐらいが適当です。



本植え

本植え

時期 本葉が5～6枚になり、根が鉢全体にまわったときに行います。

用土 腐葉土(3.5) + 田土(4.0) + 川砂(2.0) + くん炭(0.5)

鉢 あんどん作りでは7号鉢、切り込み作りでは5号鉢をします。

肥料 乾燥肥料を大さじ4杯、鉢の縁へ埋め込むか液肥を与えます。

灌水 初めのうちは土の表面が乾いたら行う程度。後半は灌水の量を多くします。

仕立て方

あんどん作り 青斑入り蟬葉の品種をします。

本づる仕立て 親づるをそのまま伸ばしあんどんに巻きます。

子づる仕立て 本葉が10枚程度の時、6～7枚残して摘心し、3, 4, 5番目の芽を残し、あとの芽はかきとります。その後、残した芽が10cmぐらいのつるになったとき、一番元気なつるだけ残し、それをあんどん支柱へ誘引します。

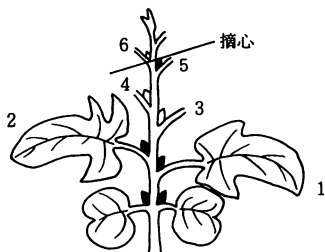


子づる仕立て

切り込み作り

第1回摘心

本葉が8枚程度のとき5と6の間で摘心し3と4以外の芽はかき取ります。数日後5枚目の葉は切ります。



第2回摘心

残した芽が伸び、葉が7～8枚になったとき5と6の間で摘心し(摘心1)、5枚目の花芽を摘み、数日後5枚目の葉を切ります。

